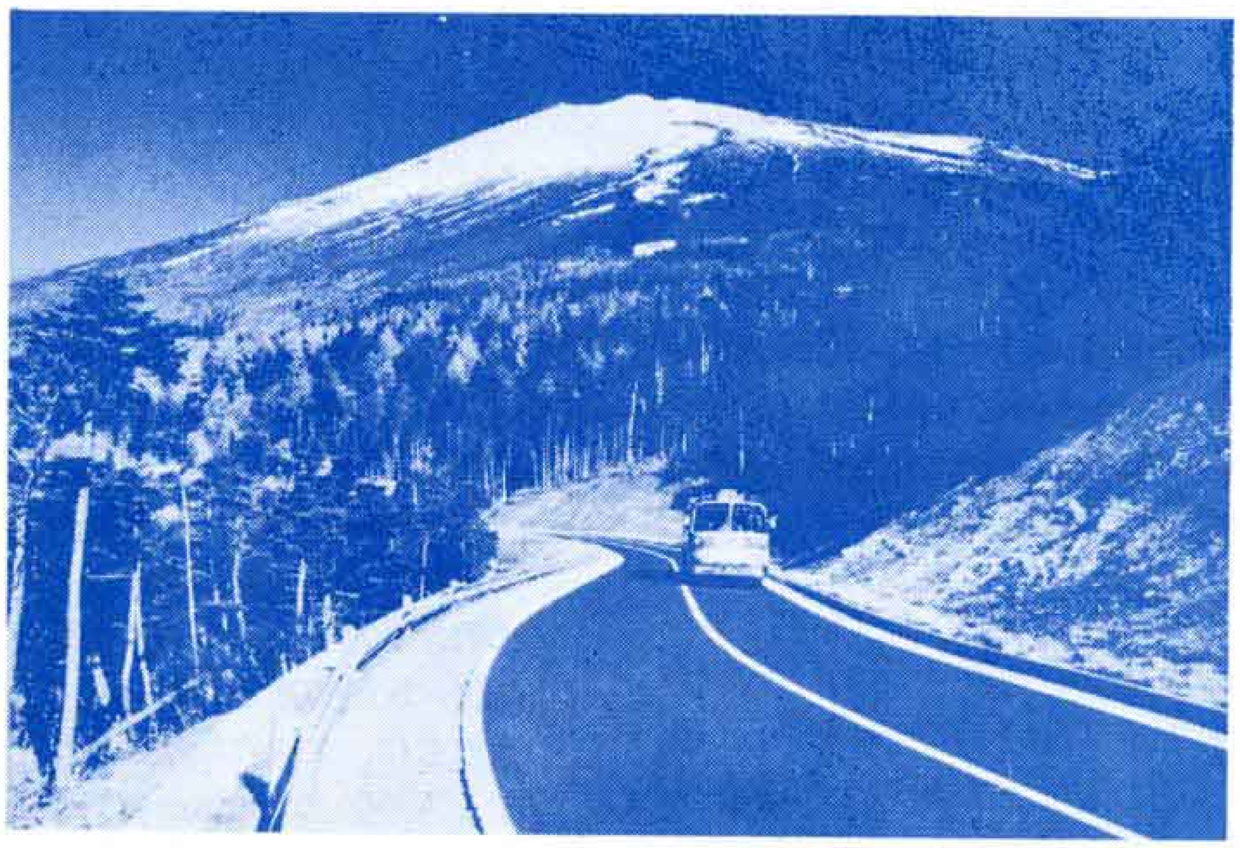
観光写真コンクール

松永隆司さん（津田）が市長賞

富士市を全国に紹介する観光写真を募集していましたが、カラー・白黒など343点の応募がありました。応募作品を慎重に審査した結果、松永隆司さんの撮影した「浮島の朝」が市長賞に選ばれるなど、多くの優秀作品が賞を受けました。

■市長賞　松永隆司（津田）
■議長賞　赤堀実信（中島）
■教育長賞　遠藤知吉（前田新田）
■商工会議所会頭賞
　杉田二三夫（静岡市）
■鷹岡商工会会頭賞　渡辺信孝(長者町)
■文化連盟会長賞　村瀬重作（小須）
■県観光協会長賞　萩野矢慶記(清水市)
■特選　影島秋男（今井毘沙門町）　石田秀夫（静岡市）　酒井清（宮島）　一木伊平（浜松市）　橋本英次（沼津市）　長沢敏夫（清水市）　石川栄治（清水市）　鈴木農三（浜松市）　鈴木巧（浜松市）　三神良秋（厚原西）
■入選　漆畑弥（宮島）　渡辺信孝（長者町）　村瀬重作(小須)　佐野彰（水戸島）　久保田昭（静岡市）　小野昭（八王子本町）　石田秀夫（静岡市）　望月国臣（清水市）　星野寿夫（浜松市）　松本健（浜松市）　松永隆司（津田）　萩野矢慶記（清水市）　田村和男（静岡市）　橋本英次（沼津市）　市川裕信（錦町）　石川栄治（清水市）　杉田二三夫（静岡市）　志村和雄（上和田町）　外山守（千鳥町）　佐藤和睦（松岡）　鈴木巧（浜松市）　川口菊次（静岡市）　小沢富義（静岡市）



市政モニター提言

〝緑の学校〟よりも公害対策を

児童を公害から守るため、昨年に続き今年も「緑の学校」を実施すると聞きました。健康を守るため、ついにそこまでやらなければならないのかと考えると、不思義に思います。

それならば、乳児や幼児はどうなるのか。1年中市内を離れることのできない多くの市民は公害で倒れてしまうのか。また、1年365日のうち、わずか2日、3日の集団脱出に何の意味があるというのだろう、2泊3日の緑の学校で残る362の健康が保証されるでしょうか。

どれひとつをとつてみても納得できません。ただ、いたずらに世間に対して、公害、公害とさわぎたてているようなものだと思います。これが個人の問題であつたなら話は別です。夏休みや連休などを利用して、自然と親しみ身心のせんたくをする、大いに結構なことです。しかし、公の場である学校が、公害から児童を守という大義名分をふりかざし、出かけていく、たしかにもつともらしくきこえます。

それほど、富士市の空気が汚れ、集団脱出しなければ健康を守れないなら、すこしでも早く公害発生源をなくして、きれいな空気を取りもどす方が、もつと大きな効果があるのではないでしょうか。

（吉原1・石川仁）

年金コーナー

事務所勤めでも年金に加入が…

問　40才で2児の母です。夫は既に死亡しました。私は今年の4月にそれまで勤めた会社を退職して、ある団体の事務所に勤め始めました。前の会社では厚生年金に加入していましたが、現在の勤務先は厚生年金の適用されない小さな事務所なので、国民年金に加入したいと思いますが…。

答　厚生年金や共済組合などの年金に加入していない人は、すべて国民年金の被保険者になることになつています。しかし、夫の死亡によつて他の年金制度から、遺族年金を受けることができる人は、国民年金の強制加入の対象にはなりません

しかし、遺族年金を受けられない場合は、国民年金の強制被保険者になりますので、前の会社をやめた日にさかのぼつて、国民年金に加入していただくことになります。なお、遺族年金を受けていても、希望すれば国民年金へ任意加入することはできます。